

実績多数の高度なインプラント治療を柱に
全身の健康を見据えた口腔環境づくりを実践

日本歯科大学卒業、東京医科歯科大学口腔外科・歯内治療科・矯正科を経て2002年開業。インプラント技術「ザイゴマオールオン4」手術を数多く手がける。ペンシルバニア大学で歯周病や顎骨等の研究を続け、AAO(米国口腔インプラント学会)認定医、日本アンチエイジング歯科学会認定医、認定アプリメントアドバイザー、日本再生医療学会会員、日本レーザー医学会会員、日本美容歯科学会会員。

Profile

上野毛の閑静な住宅街に建つ『のふ..アンタルクリニック』の院内は、ゆったりと居心地のいい雰囲気。ハイレベルなインプラント治療を柱に、全身の健康を見据えた理想の口腔環境づくりを実践する小原澤友伸院長は、「食べ物の入り口である口は、命の入り口に他なりません。

歯の健康状態がQOLにいかにか大きな影響を及ぼすかを丁寧に伝え、多くの方の人生を支えていきたいです」と、穏やかにほほえむ。

わずか4本のインプラントで片側のすべての歯を支えるオールオン4や、顎骨を利用したザイゴマインプラントなど、院長

が得意とするのは世界標準の高度なインプラント治療。すべての歯を失った症例や、全身疾患を抱えるリスタクの高い患者の治療においても豊富な実績を積み重ねており、卓越した技術を頼りに来院する患者は国内のみならず海外からも後を絶たない。

「インプラント本数が少なけれ

あなたの本音を知りたい

来院者の声

- ① インプラントに定評のある先生と笑みこらも受けました。初めての手術で不安や緊張もあったのですが、ちょっとしたことで丁寧にわかりやすく説明していただいたおかげで安心して受けることができました。(50代/女性) ② 家族から羨ましがりがひどいと指摘され、先生に相談したんです。精密な検査を受け、理想的な噛み合わせになるよう治療していただきました。羨ましがりもなくなる。ずっと笑になっていた異口より笑顔もよくなったんですよ。(40代/女性)





1. フラワーカラーを基調とした全室個室の診療室が工場分科の特徴

Pick up!

歯ぐきしりや食いしばり等で生じる、体の不調を新型マウスピースで解消

咬合が導入した診療中に使用する新型マウスピース。このマウスピースを使用した多くの患者からはぬまいや歯ぐきなどの症状改善のほか、いびきや平気な呼吸が軽減されたという声も聞くそうだ。この呼吸メカニズムを改善は「マウスピースを装着することで歯茎が外に多く取り込まれ、鼓室中の気圧が軽減しることが挙げられます。また悪影響のない自然な歯ぐきしりや食いしばりがスムーズに行えていることも要因です」と解説する。

のぶ:デンタルクリニック三宿

植松 裕雅 院長

Hirokazu Uematsu

歯科 / 矯正歯科 / 歯科口腔外科 / 小児歯科

審美歯科 / インプラント治療

日本大学松戸歯学部卒業。幅広い治療技術を獲得するべく研鑽を積み、「のぶ:デンタルクリニック」本院に勤務。2004年の工場分科開業と同時に、院長に就任。日本口腔インプラント学会常任研究開発理事、AAID（アメリカ口腔インプラント学会）認定医、日本アンチエイジング歯科学会認定医、口腔歯科学会認定医。その他、パワドリセラピスト、サブイメントアドバイザーなど多岐な資格を持つ。



2. AAID（アメリカ口腔インプラント学会）認定の権利。インプラント治療のエキスパートの証。 3. 他誌や番組の提供などに有用なサブイメントアドバイザー

Data



Tel 03-3487-4618
 Add 世田谷区下馬1-20-13
 Parking 有(2台)
 Close 日/夜

Map P331 D-1



虫歯の診療から噛み合わせまで総合的に診療治療を通して患者のQOL向上を後押し

一般的な歯科治療はもろろん、インプラント治療や予防歯科、審美歯科など幅広い分野で質の高い治療を提供している「のぶ:デンタルクリニック三宿」。口内環境の改善にとどまらず、患者の生活の質まで考慮した歯科医療をめざす松原診療院長は、「全身の健康を見据えた総合的な歯科診療」をモットーに掲げる。

治療を通し、患者の口内環境が全身に影響することを理解してものうのも審美歯科の仕事と考える院長は、噛み合わせ治療や歯ぐきしり、食いしばりの対策をすることで、より健康で快適に過ごしやすい状態をという。

歯を失ったことで満足に噛めるなくなったり、異常な歯ぐきしりや食いしばりがあったりすると、肩凝りや腰痛、不眠症などの不調や運動障害、頭痛、認知症など全身の不調を招きやすくなります。十分な咀嚼ができることで、健康に過ごせるようになるんですよ。」

またそのような噛み合わせのずれや歯ぐきしり、食いしばりは歯列の乱れや歯の欠損のほか、ストレスや呼吸障害、栄養障害などが一因で起こるといわれている。そこで病院では治療の一環として、就寝中に装着する新型のマウスピースを導入し、装着することで就寝中の呼吸がスムーズになるほか、歯ぐきしりや食いしばり対策、顎関節症のなかみ調整も可能になります」と院長は。

常に患者の生活の質に意識を向け、全方位的な診療で口内環境の改善に努めていく。

三野診療所
 世田谷区
 世田谷区

のぶ:デンタルクリニック三宿



今回行ったのは

のぶ：デンタルクリニック

A04 豊原毎日 47号
 豊原にA1F
 T: 03-5790-4818
 P: 204

上野毛駅から徒歩10分の近所にあるクリニック。特にインプラント治療に定評があり、高度な技術と知識を求めた来院する患者は国内外から後を絶たない。実臨床や先端学なども取り込み、全身の健康維持に向けた多岐なるアプローチを実践する。



読者 愛実さん
 30代/専業主婦/歯内療法

お口の健康を意識するからこそ薬で治せる歯周病治療に関心大！治療の様子や効果も気になります
 丁寧なブラッシングを小まめにするなど、普段からお口の健康について意識しているつもりですが、やはり歯周病は気になる場所。そんなとき、お薬を飲むことで歯周病を治せる治療があるのでは？ととても興味を持ちました。実際の治療の様子や治療期間、費用、効果など、今日は気になることを詳しく伺いたいと思います。

③せっかく歯周病薬のいい口腔内環境を手に入れたのですから、やはり定期的なメンテナンスを続けることが最も重要ですね。歯周病予防に使ってバイオフィーム(細菌の膜を壊す)に効果する専用のクリーニング剤・PMTCによるケアがありますので、さらさら継続的に使っていくようにお話をしています。併せて、例えば「歯垢の歯の食べ物がいっしょにくっついて歯を傷める」という悪い食べ方や食事の仕方を変える食習慣も、正しいブラッシング指導なども行っていきます。

Q 治療を受けた後、
 いい状態を長く保つためには
 どんなケアが必要ですか？

④はい。どんなでも残っていたことが可能です。歯周内科治療で使う薬は抗生物質的なもので、ほかに歯垢中の歯垢がある一方で、健康的に抗生物質が合わない方が多いということも、その場合は例えば経口薬や点滴療法をお出ししています。歯周病が進行している方はお薬を飲み始めるのと効果を実感しやすいです。ただし、あまりに進行してしまった人は、やはり抜歯が必要になることも実際に歯周内科治療を受けられるかどうかにも当然、医師に相談されることをお勧めします。

Q 歯周内科治療は
 誰でも受けられるのでしょうか？

レポートを終えて……

○ドクターからのメッセージ



歯周内科治療は、薬に薬を数人で同時に治療すればいいわけではなく、やはり改善された口腔内環境をいかに保ち続けるかが大事。歯周病はもちろん、虫歯も感染性ですから、家庭全員

で一緒に治療に取り組むこともとても大事な点だと思います。歯周病がなくなると口唇に自覚が持てるようになり、自然と笑顔が出るようになる方がほとんどです。当院では薬の服用でどうしても眠ってしまう薬アレルギーをお持ちの患者さんなどお受けしていますので、ぜひ安心してご相談ください。

○読者レポーターのコメント

毎日、丁寧にブラッシングをしているつもりでしたが、小原澤先生からお話を伺い、実際の口腔内には想像以上にたくさんの歯周病菌がいると知ってびっくり。歯周病菌DNA検査に興味を持ちました。たくさんの薬を、薬を飲むことで根本からなくせるのは、本当にうれしいですね。すでに治療を受けたい気持ちでいっぱいになりました。そして、定期的に歯科医院でクリーニングを受け、きれいにしていた状態をしっかりと保ち続けたいです。友人にも勧めようと思います。



4 PMTCで口腔内環境を改善



薬の服用開始から3日後、約1週間後、約2週間後にそれぞれ来院。歯科衛生士による丁寧なPMTCがなされ、歯垢がケアもともと、口腔内環境を徹底的に改善。この期間、患者は自宅でも専用マウスピースを用いて家庭で治療を行う。

5 再度、歯周病菌DNA検査結果を確認して治療が終了



薬の服用とPMTCを終えたところで改めて歯周病菌DNA検査を実施。この段階で歯周病菌はきれいに消えてなくなっている。改善された口腔内環境を保持ケアの仕方などの説明を受け、すべて終了。この一連の治療はコースで10万円。

歯周内科治療

感染症といわれる歯周病ですが、原因となっている歯周病菌の数や種類を詳しく調べ、それぞれに効く薬を飲むことで歯周病を根本から治す、歯周内科治療という治療法があるそう。実際の様子を詳しくレポートします。

①従来の歯周病治療は、歯周病菌の塊である歯垢や歯石を物理的に取ったり、丁寧にブラッシングをしたりすることで歯肉や歯の周りの炎症を抑える、いわば外科的な治療が一般的でした。それに対し歯周内科治療は、そもそも歯周病は感染症という観点に立ち、人それぞれ違う歯周病菌の種類や数を歯周病DNA検査などで解明、それらを死滅させる薬を服用しながら、専門的なクリーニング・PMTCを併せて行うことで口腔内環境を変え、効果的かつ確実に、根本から歯周病を治す治療です。

Q

従来の歯周病治療と歯周内科治療では、どんな違いがありますか？

素朴な疑問

Q&A

読んでくれたのは

のぶ：デンタルクリニック
小原澤 友伸さん



日本医科大学卒業後、東京医科大学口腔内科学科を経て2002年開業。インプラント技術「サイゴマールオン4」手術を数多く手がける。ペンシルバニア大学で歯周病等の研究を続け、AAID(米国口腔インプラント学会)認定医、日本アンチエイジング歯科学会認定医、認定サプラメントアドバイザー、日本歯周病学会会員、日本レーザー医学会会員、日本美容外科学会会員。

2 口腔内にどんな歯周病菌がいるか歯周病菌DNA検査などで分析



口腔内の組織を取り、従って顕微鏡でチェック。どれだけ丁寧に歯磨きしていても驚くほど大量の菌が動いているのが確認できるそう。さらに、どんな種類の歯周病菌がどのくらい存在するか歯周病菌DNA検査で調べ。



口腔内にどんな菌がどのくらいいるかは本当に千差万別だという。歯周病菌DNA検査結果に基づき、それぞれに必要な薬が決定される。治療中の自宅ケアの仕方や治療終了までの流れについても、改めて詳しく説明を受ける。

1 問診で気になる症状などを伝える



事前に記入した問診票に基づき、丁寧に問診が行われる。痛みや腫れ、口臭、歯茎からの出血の有無など口腔内の症状に加え、全身の気になる症状もチェック。持病や服用中の薬があれば、この時点で忘れずに伝えておく。

3 検査結果に基づき薬の処方 いよいよ治療スタート

